

平成25年度

決算 認定

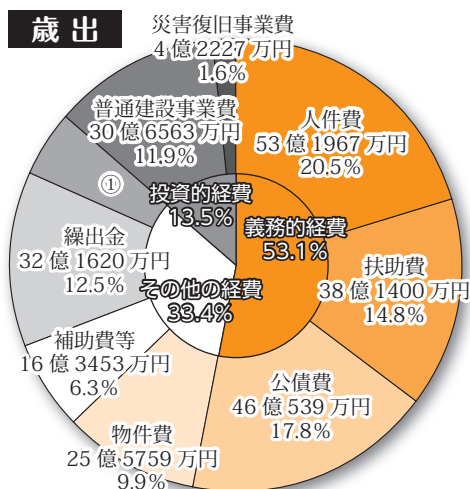


決算特別委員会の様子

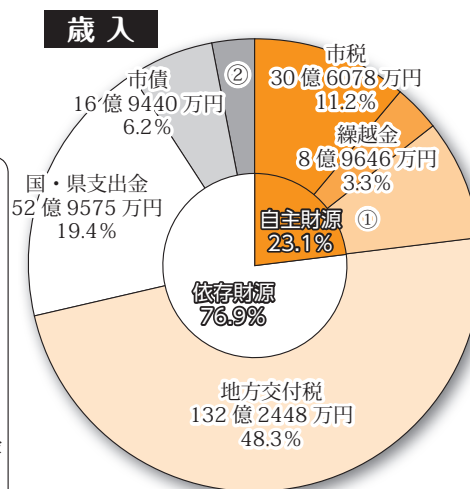
決算特別委員会（小野順一委員長）が、9月22日と25日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月30日の本会議で採決の結果、認定されました。

《一般会計決算の内訳》



①その他の経費
12億1522万円
(4.7%)
【内訳】
◆維持補修費
2億88万円
(0.8%)
◆積立金
8億8388万円
(3.4%)
◆投資・出資金・貸付金
1億3046万円
(0.5%)



①その他自主財源
23億6908万円(8.6%)
【内訳】
◆分担金及び負担金
4億7795万円(1.7%)
◆使用料及び手数料
5億1150万円(1.9%)
◆財産収入
6763万円(0.2%)
◆寄附金
3322万円(0.1%)
◆繰入金
9億1582万円(3.4%)
◆諸収入
3億6296万円(1.3%)
②その他依存財源
8億1408万円(2.9%)
【内訳】
◆地方譲与税
3億5047万円(1.3%)
◆交付金
4億6361万円(1.6%)

合計 258 億5050 万円

合計 273 億5502 万円

《各会計の決算状況》

会 計 名			歳 入	歳 出
一 般 会 計			273 億 5501 万 6 千円	258 億 5049 万 9 千円
特別会計	国 民 健 康 保 険		53 億 9883 万 2 千円	52 億 4391 万 2 千円
	後 期 高 齢 者 医 療		5 億 6923 万 6 千円	5 億 6685 万 8 千円
	介 護 保 険		65 億 6446 万 1 千円	64 億 1610 万 8 千円
	農 業 集 落 排 水		2 億 4016 万 2 千円	2 億 3455 万 3 千円
	公 共 下 水 道		1 億 1 万 4 千円	9370 万 6 千円
	浄 化 槽 施 設		4824 万 9 千円	4673 万 3 千円
	簡 易 水 道		3 億 3350 万 7 千円	3 億 1319 万 9 千円
	太 陽 光 発 電 事 業		7 億 7309 万 4 千円	6 億 8846 万 1 千円
	計		140 億 2755 万 4 千円	136 億 353 万 円
合 計			413 億 8257 万 1 千円	394 億 5402 万 9 千円

会 計 名			歳 入	歳 出
企業会計	上 水 道	収 益 的 収 支	2 億 5200 万 2 千円	1 億 8715 万 4 千円
		資 本 的 収 支	5 億 5654 万 4 千円	6 億 7151 万 円
	病院事業	収 益 的 収 支	30 億 8892 万 5 千円	32 億 400 万 4 千円
		資 本 的 収 支	4 億 32 万 8 千円	5 億 1933 万 3 千円

地方債(借金)

一般会計・特別会計

会 計 名	平成24年度末現在高	平成25年度末現在高
一 般 会 計	303 億 5315 万 5 千円	277 億 9546 万 6 千円
介 護 保 険	8666 万 6 千円	4333 万 3 千円
農 業 集 落 排 水	12 億 7504 万 1 千円	12 億 1054 万 3 千円
公 共 下 水 道	5 億 207 万 9 千円	4 億 5946 万 5 千円
浄 化 槽 施 設	7484 万 1 千円	6777 万 3 千円
簡 易 水 道	14 億 9360 万 6 千円	13 億 6191 万 9 千円
上 水 道	7 億 7436 万 円	12 億 8283 万 7 千円
病 院 事 業	30 億 1908 万 円	30 億 8349 万 5 千円
合 計	375 億 7882 万 8 千円	353 億 483 万 1 千円

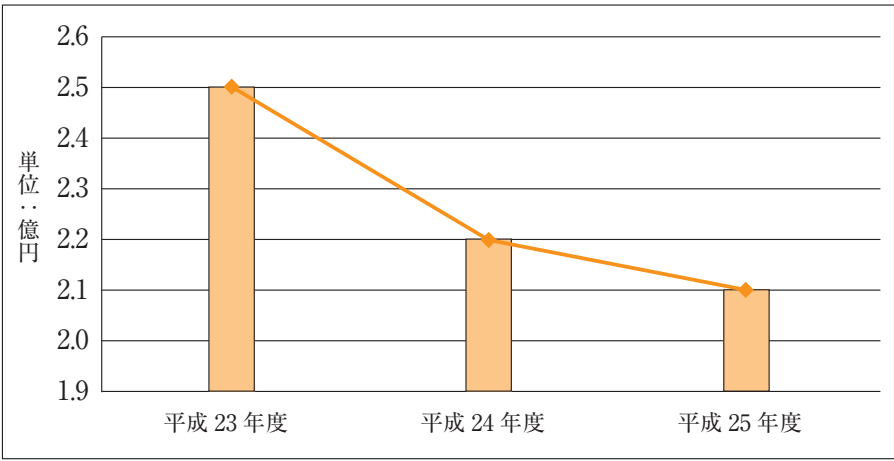
基金 (貯金)

一般会計

基 金 名	平成24年度末現在高	平成25年度末現在高
財 政 調 整 基 金	51 億 515 万 7 千円	55 億 7828 万 2 千円
減 債 基 金	17 億 9261 万 2 千円	17 億 9449 万 9 千円
その他特定目的基金	82 億 57 万 6 千円	81 億 4549 万 1 千円
その他定額運用基金	7 億 2083 万 円	7 億 2083 万 円
国民健康保険基金	6975 万 2 千円	6976 万 6 千円
高額療養費貸付基金	500 万 円	500 万 円
出産資金貸付基金	300 万 円	300 万 円
介護給付費準備基金	4 億 1037 万 3 千円	4 億 3131 万 9 千円
農業集落排水事業基金	7951 万 4 千円	5005 万 6 千円
公共下水道事業基金	538 万 7 千円	418 万 7 千円
浄化槽整備推進事業基金	357 万 3 千円	240 万 9 千円
簡易水道事業基金	9208 万 1 千円	9212 万 1 千円
合 計	164 億 8785 万 5 千円	168 億 9696 万 円

《議会費の推移》

前年度に比べると1442万円減少しています。
これは、議員定数削減による報酬等の減少や、議員年金制度の廃止による公費負担が減少したことなどによるものです。



監査委員の意見

交付税の階段落ちまであと1年

本市の平成25年度の一般会計及び7特別会計の決算については、いずれも黒字決算であった。本年度より太陽光発電事業特別会計が加わり8特別会計となっているが、太陽光発電事業の事業開始は、平成26年度からである。

財政運営状況を見る健全化判断比率については、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率全てにおいて、国の示す早期健全化基準以下であり良好といえる。經常収支比率(86.0%)も1.0ポイント好転しており、財政は健全化の方向にあると認められた。

基金については、28基金で、前年度より4億910万5千円増加し、168億9696万円となっている。

一方、収入については、自主財源比率が基金繰入金等の増加により23.1%(前年度18.4%)となっている。また、収納率の低下が懸念されていた市営住宅使用料は、平成26年度より大分県住宅供給公社へ管理委託されることから、今後の収納率の向上を期待する。

企業会計については、上水道事業は当年度純利益を計上しているものの、病院事業は1億1507万9千円の損失となっており、経営改善に向けた一層の取り組みを期待する。

あと1年で交付税の合併特例が終わり、階段落ちが始まる。行財政改革への取り組みを強化しながらも、財政の健全化を確保しながら、住民福祉向上のために各種施策の推進を希望する。



赤坂 憲代表監査委員